

解答

一

- (1) ① じゅりつ ② ふなたび ③ む「らす」 ④ あまやど「り」 ⑤ もうとう
 (2) ① 消失 ② 浴「びる」 ③ 拡張 ④ 手帳 ⑤ 穀物
 (3) ① イ ② イ ③ ア ④ イ ⑤ ア
 (4) ① オ ② エ ③ ア ④ ウ ⑤ イ

二

- 問一 1 エ 2 ア 3 イ
 問二 C
 (1) 入り口がせまくておくの深い穴の中
 (2) ● 敵に襲われにくいから。
 ● 自分の体を周りの壁にびったりくっつけられるから。

(3) ウ

ウナギの体はぬるぬるしているため、手でつかもうとするたびにどんどん上の方へのぼっていくのぼり方。粘液の、体の表面の水分を保ち、空気中の酸素を取りこむことができるという働き。

アの近くで動く物を側線で感じることができるから。

ア ○ イ × ウ × エ ○

三

- 問一 ① エ ⑥ ア
 問二 イ
 (1) ひみつのおいをいいにおいだと思っていたこと
 問三 エ
 (2) 彰宏ちゃんと顔を見合わせて笑ったこと。
 (1) もやもやしていた気持ちが軽くなったから。
 (2) ● どんなときでも打ち込めるものがある点。
 ● 小さいころからいっしょにがんばってきた仲間がいる点。
 問四 エ
 今まで女の子だと思われていなかったことを失礼に思う気持ち。
 問五 閉じたまぶたの く つはいいらない。
 問六
 問七
 問八

解説

二

問四 次の段落で「ぬるぬるした粘液が役にたちます。」「粘液は空気中に出たときに体の表面の水分を保ち、乾燥を防ぎます。また同時に、空気中の酸素を粘液の中に取りこんで、これで呼吸をするのです。」と述べられています。

三

問七 直前で彰宏君に「女の子だったんだなあ」と言われた時の「まどか」の気持ちは、「失礼しちゃう、今さら気づいたなんて。つまり今まで私は女の子じゃなかったってことだ。」と描写されています。